

今月の

“心にひびく言葉”

為せば成る  
為さねば成らぬ  
何事も  
成らぬは人の  
為さぬなりけり

米沢藩主 上杉 鷹山 の言葉

(1751年9月9日～1822年4月2日)

上杉治憲(鷹山)は高鍋藩主(宮崎県)秋月種美の次男として生まれ、祖母が米沢藩出身という縁により、10歳の時、米沢藩主の養子となった。17歳で藩主となるが、藩は莫大な借金を抱えており、鷹山は様々改革によって、財政の建て直しに取り組んだ。

「為せば」は“意志”を持った行動で、「成る」は“結果として得られる状態”を言います。つまりは「願いは勝手にかなうのではなく、自分の力でつくるもの。思い通りの結果が得られないのは、自分自身が実現へ向けた努力をしていないからだ。」ということです。自分にとって100%都合のよい環境はありません。何かしら都合が悪いことがあるものです。その不自由さの中で自らの目標に向かって行動していける強い人になってください。

2026-4